

令和7年第3回 グループホームいこいの森福井町 運営推進会議議事録

◇開催日：令和7年6月23日（月曜日）午後2時～午後3時

◇出席者：ご家族代表（永野様） 旭街地域包括支援センター（武内様）
施設代表（いこいの森福井町管理者・手島、弊社代表取締役・吉井） 以上4名

◇議題と内容

①現状報告

〔福井町〕 定員 18 名 入居 18 名

②行事報告

〔福井町〕 1F 4/8(火) わんぱーく高知 花見
5/3(土) あじさい街道 外食
4/15(火)、5/26(月) お誕生日会
2F 4/11(金) 職員によるギター演奏会
5/27(火) あじさい街道 外食
4/15(火)、5/19(月) お誕生日会
あと 5 月には利用者さん希望により高知ファイティングドッグスの
試合の観戦を職員が1名同行し実施、大変喜んでいただいた

③介護事故報告

1F ユニットにて3件の事故あり。

㊦4/11(金) 6:00 靴を履かずにトイレに行こうとされ転倒

㊧4/12(土) 5:00 靴のかかとを踏んだまま歩行され転倒

いずれも外傷・打撲痕・痛み訴えなし

㊨4/26(土) 8:15 歩行中ふらつき、尻もちをつき転倒

外傷・打撲痕なし、両肩と腕の痛み訴えあり湿布を張り対処

④研修報告

1F 4/10(木) 個人情報保護に関する研修

2F 4/11(金) 同上

⑤運営推進会議を用いた事業所の外部評価について

5月31日に職員が所定の49項目について事業所の内部評価を実施した。

本日の運営推進会議において、ご出席者のご意見等を外部評価としていただき、事業所

の質向上に向けて今後注力していくべき事項等をまとめた。

※評価結果については別紙参照

◇いただいたご意見・ご質問など

①福井町はなかなか空きがない印象がある。待機者は多いのか？

→名簿上は数十名ほど。先日も 3～4 名の施設見学があった。ありがたく思っている。

②入居者の男女比？

→現在女性 17 名、男性 1 名。

③高齢者虐待防止に関しては、地域包括支援センターとしても積極的に取り組んでいる。

施設勤務の職員のみなさんにも更なる意識啓発や情報共有をお願いしたい。

④地域包括支援センターにて『想いをかなえるノート』を作成、配布している。必要とされる方に案内しぜひ活用してもらいたい。

⑤（吉井より）5/27 の外食は自分も運転手として同行した。やはり外出という特別なイベントとなると、皆さん施設にいらっしゃるときよりもずっとにこやかで楽しそうにしているのが分かった。一方で、職員も通常以上に気を遣う場面が多くなるため、負荷が大きいことも理解できた。会社としてもっと外出がしやすい環境や体制づくりを考えていきたいと思っている。

◇次回の運営推進会議について

- ・次回運営推進会議は令和 7 年 8 月を予定しています。次回から再びグループホームいこいの森との合同開催とします（次回はデイサービスいこいの森も加わる予定）。
- ・当該内容および運営推進会議プログラム内容は弊社ウェブサイトでもご覧いただけます。
- ・運営推進会議はどなたでも参加していただけます。下記までご連絡ください。

◇運営推進会議参加連絡先

〒780-0935 高知市旭町 2 丁目 38-5 いこいの森・本部

[TEL] 088-825-0860 [FAX] 088-803-5578 [E-MAIL] snowforest151@gmail.com

[WEB] <http://www.151.ecweb.jp/index.html>

[議事録作成者] 株式会社スノーフォレスト 代表取締役 吉井英昭

5 事業所番号	3	9	9	0	1	0	0	5	7	4	事業所名	グループホームいこいの森福井町	自己評価 実施日	令和 7 年 5 月 31 日	外部評価 実施日	令和 7 年 6 月 23 日
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------	-----------------	-------------	-----------------	-------------	-----------------

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述(評価の根拠)	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(評価の根拠、今後の取組等)
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月 1 回のスタッフ会や申し送りの中で、理念に基づいたケアの方法を話し合い全職員で共有し実践しています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが 5 類に移行したとはいえ、コロナ前と同じように施設間の交流や近隣への外出ができておらず、地域交流は十分に行えていない。	事業所を地域に知っていただくのは大切なことだと思います。できることからやっていけるようにしましょう。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後とも外出機会は増やしていくようにする。ほかにも、幼稚園や保育園、学校との関りを模索していきたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故報告や防災対策の取り組み等を適時報告し意見を伺いながら施策に反映するよう努めています。	事故・ヒヤリハットの報告は今後も積極的に開示していただけたらと思います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事事故例を職員間だけでなく会議でも共有し、サービス向上のために活かしていきたい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に旭町地域包括支援センターの職員様をお招きしている。現場の実情を積極的に伝え情報共有により多様な意見をいただき、より良いケアサービスの提供に取り組んでいます。	左記の内容どおり、引き続き地域包括支援センターと協力関係を維持し、相互に情報交換をしあいサービスの向上に取り組んでいってほしい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全事業所で原則として身体拘束を行わないケアを実践しております。法人内において、身体拘束防止委員会を設置。各事業所の委員が、全職員に対して最新の取り組みや注意点を周知することで、一貫したケアの実践と現場での情報共有を徹底しています。各事業所では年 2 回の研修を開催し、全職員が常に「身体拘束をしない」ケアの理念を再確認し、実践に向けた意識づけを行っています。	この 1 年間身体拘束は行っていないということなので、引き続き身体拘束をしないケアの実践に取り組んでほしい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者様の尊厳を守るため、ケアの質向上が極めて重要な課題であると位置付け、年2回の研修を開催し、全職員が虐待防止や不適切なケアの防止に関する知識と実践的手法を習得するよう努めています。			
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	現在、成年後見制度の利用者が1名、又、手続き中の方が1名いらっしゃいます。今後ご相談を受け付け、必要に応じて専門的な支援を提供し、利用者様の権利保護と安心できる生活環境の確保を目指して、継続的な支援を行います。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	新規契約時には契約書と重要事項説明書を読み合わせし、面前にて同意をいただいている。今次の改定も改定のお知らせを郵送し、全員から同意書をいただいています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者およびご家族様が気軽に意見や要望を伝えられるよう、玄関前に意見箱を設置しています。現在は外部の方へ表せる機会は設けていないが、より広く意見を収集できるようホームページでの公開を検討してみます。	意見や要望への対応は問題なくできていると思う。 ホームページへの公開はハードルが上がるのでできるところからやっていくとよい。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホームページはリニューアルすべく現在業者と打合せ中であり、順調にければ秋頃公開予定。意見要望を公表するページを構えるかどうかは職員の負担感も考慮しながら検討したい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	各職員から寄せられる意見や提案をもとに、スタッフ会で話し合い、問題点の早期発見と業務改善に向けた具体的な対応策を検討し実施しています。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	人事評価を年に2回行い、職員個々の仕事ぶりや力量を測り、適切に給与に反映させている。職場環境や条件の整備にも取り組んでいます。			

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年間スケジュールに基づき、定期的な研修を実施。職員のスキルアップのため、外部研修に関する情報を積極的に周知し、各自が専門性を高める機会として活用できるよう支援体制を整えています。			
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	これまで交流のなかった同業者との意見交換を積極的に行っています。また、徳島本部から提供される最新の情報や研修を活用し、管理者や職員が新たな視点や考え方を共有することで、サービスの質の向上に努めています。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員と入居者は、同じ空間、同じ時間を一緒に過ごす仲間として深い信頼関係ができている。人生の先輩として学ぶことが沢山あり、尊敬と労りの気持ちを持ち、お互いに支え合う関係性ができています。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	面会は時間制限を設けず居室で自由に行えるようにしています。そのため、ご友人と会話が弾み、急遽外食の機会が生まれることもあり、その際は、ご家族様の承諾を得た上で安心して外出できるよう配慮して柔軟な対応を通じて馴染みの関係性の維持継続に努めています。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コミュニケーションを通じて一人ひとりの思いを伺い、職員間で共有し希望や意向の把握に努めている。意思の伝達が難しいケースでは日々の様子や表情から気持ちを読み取り、入居者様をよく知る家族や関係者にも意向を伺い、より正確な理解を深めるよう努めています。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一堂に会しての話し合う機会は少ないものの、面会時や電話を活用しながら、入居者様の近況報告や要望を伺い、常に把握できるよう努めている。収集した情報、定期的なモニタリングをもとに個別に対応しながら支援内容を検討しています。			
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個別に日々の暮らしやケアの実践、気づき等を支援記録として残している。その都度、少人数で話し合いを短時間で行い申し送りにより全職員に周知している。全員の意見が必要な場合はスタッフ会で話し合い、職員間で情報を共有し日々のケアや介護計画の見直しに活用しています。			
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機本人能化に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	買い物支援を中心に個々のニーズを満たすよう努めている。希望に応じて入居前に利用していたデイサービスを継続利用できるよう配慮しています(現在1名利用)。入退院の支援や訪問看護導入等、その時々状況に応じて他のサービス事業所と連携を図り、必要な支援を柔軟に受けられるよう努めています。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	外出による花見や季節行事を積極的に行うよう努めてはいるが、地域活動や行事への参加は十分とは言えない。	地区の民生委員が地域の様々な情報を持っている。運営推進会議に参加してもらうと有益な意見や情報が手に入るのでは。	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地域包括支援センターより民生委員の連絡先を教えていただき、今後連携を図っていくことにする。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居時にかかりつけ医の希望をヒアリングし、希望に沿った対応をしている。本人や家族の希望、疾患に合わせて専門医の受診を支援し病状が落ち着いた方は、かかりつけ医に情報提供を行い変更している。臨時受診や処方箋の変更があった場合は家族に連絡をしています。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時に同行した職員が、入居中の様子や入院に至った経過、本人のADLなど情報提供を行っている。入院中は地域連携室を通じて病状の経過、退院までの概ねの予定や予後について確認している。家族には居室の猶予期間についても説明しています。			
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化・終末期に向けた方針は、重度化対応指針により家族および職員全員に周知している。指針はHPでも閲覧可能である。本人と家族の意向をもとに、病院や訪問看護から支援を受け、重度化・終末期のチーム支援ができる体制を構築しています。	看取りは行っているのか？ →家族ニーズを踏まえて現在当事業所での看取りは行っておらず、医療機関にお願いしている。看護師資格保有者が常時いるわけではないので、当面この方針は継続する。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルがあり、全職員が理解している。事務所にAEDを設置し、利用方法についてもレクチャーを受けています。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災は、消防署の指導を受け避難・消火・通報の一連の訓練を年2回行っている。準耐震構造の建物であり地震、水害時は被害にもよるが、外への避難は行わず建物内避難としている。今年度よりBCP訓練も定期的に行う予定です。	訓練の実施状況？ →消防訓練とBCP訓練を年2回ずつ行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年行ったBCP訓練は備蓄品の確認と安否確認。今後は実地で災害を想定した訓練も行っていく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様が安心して過ごせるよう、傷つけない声かけを心掛け、人格を尊重した接遇で対応している。日頃から丁寧な言葉使いを実践することで穏やかな暮らしの実現に努めている。特に排泄時や入浴時には不安や羞恥心を抱かないよう配慮し、プライバシーを尊重しながら介助を行っています。			

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コミュニケーションを通じて、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を把握するよう努めている。特に、食事やおやつの選択、入浴のタイミング、外出の計画など、日々の生活における自己決定の機会を積極的に設け、その意思を尊重しています。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物日は利用者様の希望を伺いオーダーをもとにメニューを決定している。又、売り出しの広告を参考にしながら菓子類を選び、おやつの時間に提供することで楽しんでいただけるよう工夫をしている。お誕生日会では本人のリクエストを事前に確認し、好物を用意することで特別な日をより楽しんでいただけるよう努めています。			
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養 1,500 kcal、水分 1,500 mlを確保するよう栄養バランスを考えた食事作りをしている。食事・水分チェック表を基に摂取量が少ない時には、個々の好きな物を提供している。個別性を尊重し支援を行っています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は口腔ケアの必要性を理解しており、毎食後、個々の状態に合わせてケアが行えている。介助時に口腔内のチェックを行い、診察の必要があれば訪問歯科サービスに繋げ指導や助言を受けている。			
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンを把握し自尊心に配慮した声掛け誘導、プライバシーに配慮した排泄介助を行っている。必要に応じて手すりの設置を行い排泄の自立に向けた支援を行っている。牛乳や乳製品を提供し便秘予防に取り組んでいます。			

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様の生活習慣に合わせて曜日や時間を柔軟に調整し、無理のない形で日々の活動を進めています。外出の際には、その都度状況に応じて対応しています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態を把握し、日中の活動量を増やし、生活リズムを整え夜間の安眠確保ができるよう支援している。日中はその日の個々の状態に合わせて休息を取っていただいている。夜間不眠の方は主治医に相談しています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	薬剤情報は個々の介護記録にファイリングし、いつでも確認できるようにしている。処方変更、追加処方があれば情報ノートに記入し全職員に周知、職員間で申し送りをして必要に応じてバイタルチェックを行い症状の変化の把握に努めています。			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	自身の生活歴や習慣、ADL の状態に合わせて、家事等をお願いしている。季節の行事や外出支援、気軽なレクリエーションを実施し、利用者が気分転換できる環境を整えています。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	月 1 回の外出をはじめ、季節ごとの行事や日常的なレクリエーション活動を通じて充実した生活が送れるよう配慮しています。他のスケジュールとの調整が必要となるため、当日に急遽の外出は散歩など短時間で対応可能なものに限られます。	本人の希望に沿った外出を実現しており(例:高知 FD の試合観戦)、よく支援できていると思う。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	今後も入居者一人ひとりのニーズを汲み、外出の支援に取り組んでいきたい。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、外出の際などに一人ひとりの希望や力に応じた支援を行い、主体的に活用できる環境を整えています。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様からの要望があれば職員が取り次ぎ、安心して連絡を取れる環境を提供しています。また、年賀状や暑中見舞いが届いた際には、必ず返信を綴ることで、入居者様と関係者とのつながりを維持し、温かい交流が継続できるよう努めています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	共用空間は、台所・食堂・リビングと一体化しており、食事作りの音や香りが自然に広がることで家庭的な雰囲気を提供しています。毎月、入居者様と一緒に制作する作品を飾り、季節の移ろいを感じてもらえるよう工夫をしています。			
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	共同生活におけるスケジュールに沿った暮らしの中で、コミュニケーションを通じて伺ったことを職員間で情報共有し、意向に沿った暮らしができるように努めている。コミュニケーションが困難な方についてはご家族様からも意向を聞き、状態に合わせたケアの提供に努めています。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	事前のアセスメント、ご本人ご家族様から伺った生活歴や習慣、その他関係者から得た情報をもとにケアプランを作成しています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事・水分摂取量、排泄、バイタルサイン等を専用のチェック表に記入し常に利用者の状態を把握し、その情報をかかりつけ医や看護師に伝え連携に努めている。日々のケアの内容は支援記録に残している。全職員で共有しリスクマネジメントを行い、事故防止に努めています。			

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	概ね共同生活のスケジュールに沿って生活をされていますが、自己決定を尊重し、できる限り自身のペースで生活をしていただけるよう配慮しています。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	新しい生活環境であっても、入居者ご自身の価値観や大切な思い出が継続的に感じられるよう配慮し、入居時には普段使用していた身近な物を持参していただくようお願いしています。			
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	面会者との外出を希望された場合、ご家族様の承諾を得ている。自身の意向や希望に添い戸外への外出に参加することで社会とのつながりを保てるよう支援しています。	これまでも意見してきたように地域とのつながりの部分で少し課題が残る中で、民生委員などの力も借り、今後の取り組みとしてほしい。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	今後の課題として取り組んでいく。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	洗濯物の干し方やたたみ作業、調理の下ごしらえなど、日常生活の基本作業について、利用者の状態や体力に合わせたサポートを行っています。これにより、利用者が可能な限り自立した生活を送れるよう支援しています。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人と職員の会話だけでなく、入居者同士の会話を積極的に促している。また、得意とする活動を把握して笑顔で気持ちよく生き生きとした生活が送れるよう支援しています。			
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ以前は高齢者施設のイベントに参加するなど交流が行えていたが、コロナ禍以降は十分行えていないと言えない。	45と重なるが、利用者本人としては自分なりの活動はできていて、あとは施設側がどれだけ地域交流の枠を増やすか。今後検討してほしい。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	今後の課題として取り組んでいく。

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様同士、入居者様と職員との間に温かい絆が築かれており、日常の中で相互に支え合う関係が生まれています。きめ細やかなケア体制やトラブル防止、健康管理などの取り組みを行うことで心身の安定を図り、充実した生活を送ることができています。	入居者の居住期間が長く、みなさん穏やかにお過ごしなのが分かる。引き続きこの雰囲気を維持し、安心してお任せできるホームであってほしい。	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご期待に応えられるよう、職員一同これからも頑張っていきます。
----	----	---	--	---	---	--	---------------------------------------

令和7年第3回 グループホームいこいの森 運営推進会議議事録

◇開催日：令和7年6月24日（火曜日）午後2時～午後3時

◇出席者：地域代表（陰山様） 医療機関代表（ひかり薬局曾我様）
施設代表（いこいの森管理者・武田、弊社代表取締役・吉井） 以上4名

◇議題と内容

①現状報告

[旭町]	定員 18 名	入居 17 名			
入院	2F 1 名	3F 1 名	合計	2 名	
入居	2F 1 名	3F 2 名	合計	3 名	
退去	2F 1 名	3F 2 名	合計	3 名	

②行事報告

[旭町] 2F 5/31(土) 中土佐町・久礼にドライブを兼ねて外出。3家族が同行（車に同乗）。焼きたての鰯を美味しくいただき、道の駅で買い物をし、大変楽しく充実した時間を過ごすことができた。

6/11(水) 春野六条八幡神社（紫陽花寺）に紫陽花を見学、雨に濡れてたくさんの紫陽花が咲いていた。アイスクリンを皆さんでいただき、コーヒーのお接待もあり大いに喜ばれた。

3F 6/9(土) 春野あじさい街道に出かけ、雨が降っていたためドライブのみとなったが、車窓から紫陽花を眺め楽しまれた。

7月は土佐市の蓮池公園に、蓮見学に行く予定（2F、3Fとも）。

③介護事故報告

なし

④運営推進会議を用いた事業所の外部評価について

6月20日に管理者と職員が所定の49項目について事業所の内部評価を実施した。

本日の運営推進会議において、ご出席者のご意見等を外部評価としていただき、事業所の質向上に向けて今後注力していくべき事項等をまとめた。

※評価結果については別紙参照

◇いただいたご意見・ご質問など

①夏場は天候にもよるが猛暑となる可能性が高い。外出時は十分な水分補給をしてくだ

さい。

②現在空室が1室あるようだが入居の見込みは？

→福井町からの紹介や、他施設からの紹介の話がある。相手方の事情もあるので7月中旬くらいには入居、満床としたい。

③（吉井より）5/31の外出は自分も運転手として同行した。昨日の福井町の運営推進会議でも話したが、やはり外出という特別なイベントとなると、皆さん施設にいらっしゃるときよりもずっとにこやかに楽しそうにしているのが分かった。一方で、職員も通常以上に気を遣う場面が多くなるため、負荷が大きいことも理解できた。会社としてももっと外出がしやすい環境や体制づくりを考えていきたいと思っている。

◇次回の運営推進会議について

- ・次回運営推進会議は令和7年8月を予定しています。次回から再びグループホームいこいの森福井町との合同開催とします（次回はデイサービスいこいの森も加わる予定）。
- ・当該内容および運営推進会議プログラム内容は弊社ウェブサイトでもご覧いただけます。
- ・運営推進会議はどなたでも参加していただけます。下記までご連絡ください。

◇運営推進会議参加連絡先

〒780-0935 高知市旭町2丁目38-5 いこいの森・本部

[TEL] 088-825-0860 [FAX] 088-803-5578 [E-MAIL] snowforest151@gmail.com

[WEB] <http://www.151.ecweb.jp/index.html>

[議事録作成者] 株式会社スノーフォレスト 代表取締役 吉井英昭

事業所番号	3	9	9	0	1	0	0	5	6	6	事業所名	グループホームいこいの森	自己評価 実施日	令和7年6月20日	外部評価 実施日	令和7年6月24日
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------	--------------	-------------	-----------	-------------	-----------

に自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述(評価の根拠)	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(評価の根拠、今後の取組等)
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアの中で理念の実践に取り組んでいる。月一回のスタッフ会において理念を確認し共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	4月に利用者さん、職員とコロナ感染者が発症し面会制限も行っていましたが収束し地域のイベントにも参加し交流を再開する予定です。	いこいの森に限らずコロナ禍以降の交流は減っている印象。ぜひ過去に良いお付き合いをしていた先との交流復活を図ってほしい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	交流のあった近所の保育園に声をかけてみる。(過去には敬老会などに呼ばれたこともあり)
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故報告や防災対策の取り組み等を適時報告し意見を拝聴、施策に反映するよう努めており、概ねできている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議には旭街地域包括支援センターの職員様をお招きしている。複数人で参加いただくことも多く多様な意見をいただけており、大変参考になっている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	原則として身体拘束をしないケアを全事業所にて実践している。事業所内で年2回研修を開催し常に意識づけを行っている。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束と同じくケアの質向上の大切な部分であり、年2回研修を開催し、虐待の防止、不適切なケアの防止に努めている。			
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前成年後見制度を利用していた入居者がいらっしゃったので、制度に関する理解はある。必要があれば活用のための支援を行う。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新規契約時には契約書と重要事項説明書を読み合わせし、面前にて同意をいただいている。今次の改定も改定のお知らせを郵送し、全員から同意書をいただいている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関前に意見箱を設置し意見要望を言いやすい環境を用意している。外部者へ表せる機会は設けていないが、HPでの公開を検討してみる。	意見箱は利用されているのか？ →利用された試しはない。面会時に家族とは話をする際も特段要望はない。	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	決して取り組んでいない訳ではないため B 評価に変更。慢心することなく引き続き意見を拝聴する姿勢は堅持する。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所における月1回のスタッフ会には、代表者も時間の都合が合えば出席するようにしている。様々な意見を拝聴し適切に改善に向けた対応を行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事評価を年に2回行い、職員個々の仕事ぶりや力量を測り、適切に給与に反映させている。処遇改善加算は最上位区分を取得し、また県の認証の取得も検討しており、働きがいに向上に努めている。			
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所ないでの研修も定期的に行っている、外部の研修も積極的に参加して育てる取り組みが出来ている。			
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年代表者が交代したためネットワークは一新された。これまで付き合いのなかった同業者との意見交換や、徳島本部からの情報提供により、新たな視点でサービスの質向上につながるものと考えている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員と入居者は、同じ空間、同じ時間を一緒に過ごす仲間として信頼関係ができている。人生の先輩として学ぶことが沢山あり、尊敬といたわりの気持ちを持ち、お互いに支え合う関係性ができている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族、友達の面会も出来る様になり月1回の外出、食事等も継続して家族にも協力して頂きながら楽しみを増やして行きたいと思っています。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日々のケアにおいてゆっくり話を聞き、個々の思いや意向を受け止め把握している。困難なケースでは日々の様子や表情から察し、家族からの情報も付加し本人本位の支援をしている。職員間での情報共有も適切に行っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人・家族からは、日々の関わりの中で思いや意見を聴いている。また、LIFE による ADL や認知症状の把握により課題を抽出し、WEB で厚労省に報告。フィードバックされたデータを介護計画に活用している。			
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個別に日々の暮らしやケアの実践、気づき等を PC に保存している。職員間で情報を共有し日々のケアや介護計画の見直しに活用している。			
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	買い物を中心に個々のニーズを満たすよう努めている。また希望により医療系デイサービスに通われる方もおり、個々のニーズには積極的に応じている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年明け以降、外出による花見や季節行事を積極的に行うよう努めてはいるが、地域活動や行事への参加は十分とは言えない。	いこいの森に限らずコロナ禍以降の交流は減っている印象。ぜひ過去に良いお付き合いをしていた先との交流復活を図ってほしい。(2と同じ意見)	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	交流のあった近所の保育園に声をかけてみる。(過去には敬老会などに呼ばれたこともあり)
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居時にかかりつけ医の希望をヒアリングし、希望に沿った対応をしている。受診時は職員が家族とともに同行し、ホームでの様子を伝え適切な医療につながるよう努めている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は1カ月間しか猶予期間がない契約になっており、十分な治療期間を設けているとは言い難いが、介護保険制度の枠組みで健全な事業運営を考えるとやむを得ない。入院時は職員が同行し本人の支援方法に関する情報を提供。病院の相談員から回復状況を聞き、退院に向けたカンファレンスに参加し、早期退院ができるようにしている。			
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化・終末期に向けた方針は、重度化対応指針により家族および職員全員に周知している。指針はHPでも閲覧可能である。本人と家族の意向をもとに、病院や訪問看護から支援を受け、重度化・終末期のチーム支援ができる体制を構築している。			
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルがあり、全職員が理解している。事務所にAEDを設置し、利用方法についてもレクチャーを受けている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災は、消防署の指導を受け避難・消火・通報の一連の訓練を年2回行っている。耐震構造の建物であり地震、水害時は被害にもよるが、外への避難は行わず建物内避難としている。今年度よりBCP訓練も定期的に行う予定。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人を傷つけない声かけの仕方や、人格を尊重した接遇で対応している。丁寧な言葉を使うよう日頃から指導し、実践もできている。穏やかな暮らしができるよう工夫している。			

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事・飲み物・入浴・外出等、日常生活の中で本人が決定できるよう支援している。想いや希望を伝えやすい雰囲気づくりにも配慮している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一週間のメニューはあるが、本人希望による変更にも対応している。食材の買い物と一緒にいき、食事作りや食器洗いなども手伝ってもらっている。職員も同じテーブルで会話を挟みながら一緒に食事をする。			
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養 1,500 kcal、水分 1,300 mlを確保するよう栄養バランスを考えた食事作りをしている。個々の状態を把握し、体調・状態に合わせた工夫も行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの必要性を認識しており、毎食後、個々の状態に合わせたケアを行っている。歯科受診、口腔内チェック、夜間ポリデント使用等、清潔保持に努めている。			
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者個々の排泄状態を職員全員が把握しており、トイレ排泄ができるよう支援している。自尊心に配慮した声かけ誘導、パッド交換、下着回収を行っている。一日でも長く自立した排泄が保てるよう支援している。			
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に沿った入浴ができるよう努めている。拒否時は、タイミングを計り、馴染みの職員が対応することになっている。夜間入浴は行っていないが、午後ゆったりと時間をかけ浴槽に浸かり本人のペースで入浴を楽しんでもらっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態を把握し、日中の活動量を増やし、生活リズムを整え夜間の安眠確保ができるよう支援している。日中はその日の個々の状態			

				に合わせ休息を取っていただいている。夜間不眠の方は専門医を紹介し受診するようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の介護記録ファイルに投薬説明書を入れており、目的や副作用の確認をしている。新しい処方があれば情報ノートに記載し全職員で共有している。また、全職員が症状変化の確認をしている。服薬時は複数職員で名前と日付を確認している。			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	個々の得意分野を把握。全職員が常に感謝の言葉をかけている。誕生日会や季節行事などの際は豪華なご馳走で楽しんでいただき、気分転換となるよう支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	春は堀川、針木の浄水場に桜見物 6月は春野の紫陽花見学、7月は土佐市の蓮、秋は日高のコスモスと外出を行って楽しんでいただいています。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、外出の際などに一人ひとりの希望や力に応じて支援している。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	今後外出の一環として食材の買い出しに一緒に行くことなどを検討したい。	
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	不定期ではあるが、家族に送るお便りの中に、本人の書いた絵や手紙、写真などを同封するようにしている。本人の希望を聞き、電話や手紙を送る機会を増やすよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	共用空間は、台所・食堂・ソファと一体化しており、食事作りの音や匂い等生活感が溢れている。季節の花をテーブルに活け、季節感を取り入れる工夫をしている。職員同士の私語			

		人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		は慎み不快感を与えないよう気を付けている。			
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向に沿った暮らしができるよう、職員全員で支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にケアマネジャーや家族、その他関係者から得た情報をもとにケアプラン作成している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、食事および水分量を確認リストに記載。排泄状態の把握・情報を申し送りし、職員間で情報共有を行っている。			
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の基本的なタイムスケジュールはあるが、一人ひとりのペースを大切に、本人の意向に沿った生活ができるよう支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に、本人が大切にしている物や日常的に使用していた物などを持ってきてもらうよう伝えている。			
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少し散歩の機会が減っているように感じる。催事への参加なども今後は増やしていく。	職員配置の関係で大変だと思うが、近所の散歩はぜひ増やしてみたらどうか。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前はよく散歩に出かけていた。コロナ禍を経て出かけないことが通常になっている感もあり。交代で散歩し気分転換してもらえるようにしていく。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態に応じて、洗濯干しや洗濯物のたたみ、調理の下ごしらえ、レクリエーションへの参加など個々に支援している。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人と職員の会話だけでなく、入居者同士の会話を積極的に促している。また、得意とする活動を把握して笑顔で気持ちよく生き生きとした生活が送れるよう支援している。			
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コロナ以前は高齢者施設のイベントに参加するなど交流が行えていたが、コロナ禍以降は十分行えていないと言えない。	ここまでで出た意見どおり、散歩の機会や外出などで気分転換はもとより生活の継続性、活力維持を図ってほしい。	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	グループホームに求められている利用者本位のケアを、改めて実践する。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	GH に居ることで、安心安全な生活が送れている。入居者同士、あるいは入居者と職員も家族同様の関係が構築できており、より良い日々を送ることができる。	入居者の入り替わりが少なく、日頃の健康管理が行き届き、みなさん健やかにお過ごしのこととされます。今後は外出機会を増やし、地域交流も再開することで地域にとってなくてはならない存在を目指してみよう。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	家族を招いて一緒に出掛ける年何回かの外出が、本人にも家族にも非常に好評をいただいている。こうした取り組みだけでなく、施設近隣とのつながりを意識できるような取り組み（イベント参加、散歩ほか）をもっと増やしていくようにする。